

丹沢表尾根・主脈縦走

Hi

期 日：2016年5月5日（木）快晴～6日（金）薄曇り

コース：5日 秦野駅 7:15～ヤビツ峠 8:01→富士見橋 8:22/35→三ノ塔 9:58/08→書策小屋跡 12:01/22→塔ノ岳 13:36/00 →龍ヶ馬場 15:09/20→丹沢山 15:33、6日 みやま山荘 6:02→棚沢ノ頭 7:09/14→蛭ヶ岳 8:03/18→地藏平 9:16/23→姫次 8:56/06→避難小屋 10:47/17→焼山 12:09/20→13:57 登山口

参加者：L Hi、Ni、Ya、Ka



新緑の表尾根を登る。大山が見えてくる



先ずは二ノ塔に。後ろは三ノ塔



三ノ塔に到着



富士山が見える。2日間の富士山との付き合いの始まり



これから歩く塔ノ岳への山並みが見渡せる



三ノ塔の急坂を下りる



塔ノ岳への尾根道が続く



行者ヶ岳先の鎖場には長蛇の列。20分程待ったか



慎重に鎖場を降りる



書策小屋跡で昼食



塔ノ岳山頂はもうすぐ



塔ノ岳山頂には多くの人



山頂から蛭ヶ岳を望む



静かな丹沢山への尾根道をのんびりと行く



7時間半歩いて丹沢山に到着。



みやま山荘は2畳に3名。昨年は1畳に2名だった。
夕食は2番目の5時半。7時半頃には床に就く





翌朝4時頃起床、朝食後6時出発



立ち枯れブナが痛々しい



急坂を下り、不動ノ峰に登り返す



棚沢ノ頭から蛭ヶ岳へ向かう尾根道



気分爽快な天空散歩



鬼ヶ岩を慎重に下りる



蛭ヶ岳山頂へ最後の登り。後ろには歩いて来た道が



今回の最高地点。後ろに檜洞丸、富士山



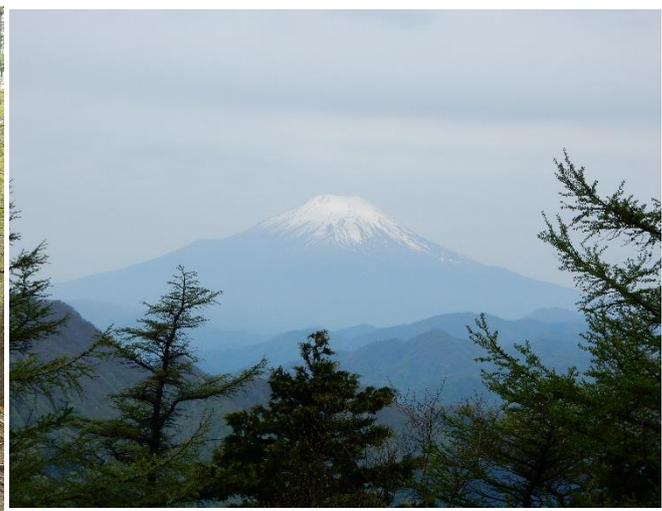
山頂からの急な下りに木の階段が延々と続く



崩落が進む登山道。その先にはこれから歩く山々



ブナ林のなかの地蔵平。予定以上に時間がかかった



姫次から見る富士山



東海自然歩道最高標高地点の標柱がある



少し離れた所に最高点はここだと誰かさん



平丸分岐付近のカラマツ林



高度を下げてくると新緑で山が明るくなる



黍殻避難小屋前で昼食後、再び歩きだす



蛭ヶ岳の見納め



やけ やま
焼山のいわれ

むかし、この山の一角は將軍家の御獵場に指定されていました。草木が茂ると狩獵の妨げになるので、毎年山に火が入れられていたのが焼山の名の起こりです。この人工的な山焼きによって良質な萱が繁茂し、周辺の部落では屋根葺きの材料として利用したようです。

山頂に三方向を向いて立つ祠は、青根・青野原・鳥屋の三部落の境界を示すものと伝えられています。

神奈川県 自然環境保全センター



歩き継がれてきた山道を下る

車道に出るとヤマビルの注意書き



焼山集落に入り、携帯でタクシーを呼ぶ

歩き始めて8時間、焼山登山口に到着。
神社境内から缶ビールを手に焼山を見上げる